

熊野水源池クリーン作戦

今回で4回目となる、熊野水源池クリーン作戦を11月11日(土)に行いました。当日は、青年部20名、組合員さん8名、水道局職員さん8人の合計36名の参加を頂きました。

当日は、4回目にして始めて、あいにくの雨天となりました。前日の天気予報で、もしかしたら雨になるのではと思い、カッパを準備していました。そのカッパを着てのゴミ清掃となりました。いつもなら、ボートで池に浮いているゴミ及び枯れ木なども清掃するのですが、雨の為、ボートを池に降ろす作業が危険なので、池の周辺を重点的に清掃することにしました。

毎年行っている成果か、周辺のゴミは少なく、雨の為、2時間程度で清掃作業を終了しました。最後に収集したゴミを手分けして、分別作業をしてみると、コンビニなどの弁当のカラ容器、ペットボトル、空き缶、タバコの吸殻がほとんどでした。

水源池クリーン作戦を始めた時は、バイクや車のタイヤ、テレビ、ビデオのテープなど、ゴミ捨て場に捨てに来ている人がいる様な印象がありましたが、そういったゴミを清掃することによって、ゴミを捨てる人が少なくなったことを感じました。清掃活動を継続していく



水源池をバックに集合写真

福山管工事協同組合青年部

担当役員 有本晋一

実施日 平成18年11月11日(土)

参加者 総勢36名

(内訳：青年部 20人 組合員 8人 水道局職員 8人)



池のゴミ拾い



池のゴミ拾い

ことも重要なことですが、ゴミを捨てない気持ち、捨てにくい環境作りを考えていかなければならないと思います。

今回の清掃活動には、地元ラジオ局の方にインタビューに来て頂き、ラジオ放送で水源池の清掃活動をアピールすることが出来ました。水源池の清掃活動をもっと一般の人に知って頂ければ、クリーン作戦への理解、水源池及び水の大切さを再認識し、ゴミがなくなるのでは、と思います。



地元放送局(ラジオ)さんのインタビュー